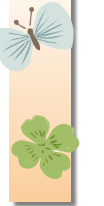




ごあいさつ



春分の候、市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。去る2月には、イタリアで開催された「ミラノ・コレティナ2026冬季オリンピック」におきまして、本市在住の清水さら選手がスノーボード女子ハーフパイプ競技において四位に入賞されました。最後まで諦めず、果敢にトリックに挑む姿は、大きな勇氣と感動を与えてくださいました。メダルには一步届きませんでしたでしたが、大舞台での入賞に、敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

さて、2月19日から始まりました2月通常会議では令和8年度当初予算案をはじめ、計71件の議案が提出され、慎重に審議を行いました。

令和8年度は、総合計画第3期実行計画、とりわけ「就学前教育・保育の魅力向上」、「市役所庁舎整備」、「坂本城跡を生かした歴史まちづくり」、「認知症施策推進」の重点プロジェクトを着実に推進するとともに、歴史文化遺産や文学といった地域資源を生かした魅力発信とにぎわいの創出や子どもから高齢者までライフステージに応じた支援の充実、生涯を通じてやりがいを持って働き続けられる環境づくりに力点を置いて予算を編成されています。また、防災拠点となる市役所庁舎の整備を本格化させる「庁舎整備元年」として、「まち」「ひと」「しごと」を支える基盤となる災害に強いまちづくりを目指し、「防災」の取組みも強化される内容です。

また、保育所等の待機児童の解消に向けた対策として保育士確保・病児保育所の設置や新規保育所の整備、小中学生の不登校対策やケアラー支援など、我が会派がこれまで重ねて要望してきた本市が直面している喫緊の課題に対する経費についても、適切に配分されているものであります。会派として、夢があふれるまち大津の創造に向け、執行部とも連携し、是々非々の立場で今後も様々な課題に取り組んでまいります。

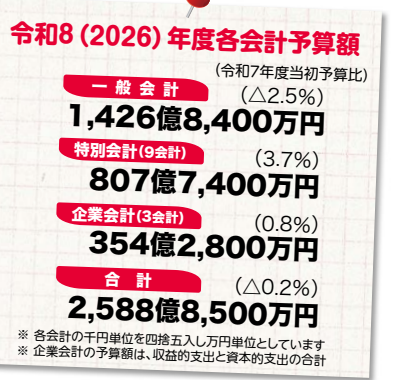
これからの私たち湖誠会は、市民や事業者の皆様が安心して住み続けられる大津市を目指し、皆様とともに歩む市政を推進してまいります。会派所属議員に対しまして、さらなるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

幹事長 竹内 昭夫

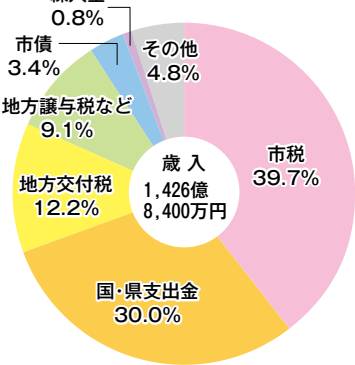
右より

- 川口 正徳 議員
- 葉月 陽 議員
- 竹内 照夫 議員
- 竹内 基二 議員
- 草野 聖地 議員
- 福永 英晶 議員
- 寺田 英幸 議員

令和8年度予算が決まりました



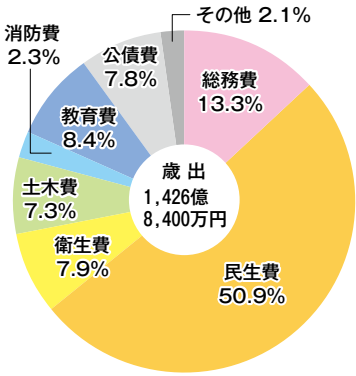
歳入解説



(市税の主な内容)
・個人市民税は、個人所得の増加等による増収を見込み、物価や金利、株価の上昇等による地方消費税 交付金などの県税交付金の増収を見込む。法人市民税については、前年度からの好調な企業業績による増収の見込み。固定資産税についても、新増築等による増収の見込み。

(全体)
・市税収入や地方交付税など各収入は堅調に推移すると見込まれる。

一般会計歳出予算額(目的別)



歳出解説

歳出においては、介護・障害福祉サービス利用増や、労務費・物価上昇に伴う公定価格の見直しなどによる扶助費の増加、および人件費や金利上昇に伴う公債費の増加により、義務的経費の割合が増加しています。こうした状況の中「総合計画第3期実行計画」に掲げられた4つの重点プロジェクト(①就学前教育・保育の魅力向上②市役所庁舎整備③坂本城跡を生かした歴史まちづくり④認知症施策推進)に関する事業に配分され、計画の強力な推進を目指す。

市民一人当たりの予算額415,992円は
こんなふうに使われます

- 民生費 51% 211,846円
- 総務費 13% 55,545円
- 教育費 8% 35,079円
- 土木費 7% 30,238円
- 衛生費 8% 32,779円
- 公債費 8% 32,605円
- その他 4% 17,901円

※金額は一般会計の歳出額を令和8年3月1日現在の人口342,997人で割り戻した額
※表中の%は歳出全体に占める割合

これからも市の財政に注目してね!

- 《子どもから高齢者まで輝く》ライフステージに応じた支援の充実、「ひと」
- 〔新〕RSウィルスワクチン定期予防接種……………29,618千円
 - 〔新〕民間保育施設の整備補助(定員90人2園)……………283,085千円
 - 〔新〕病児保育施設の整備補助……………4,000千円
 - 〔充〕民間保育施設の障害児保育への支援拡充……………62,000千円
 - 〔充〕子どもの居場所づくり事業(3カ所→4カ所)……………14,218千円
 - 〔新〕小学校給食の自己負担0……………991,566千円
 - 〔新〕高齢者の社会参画の促進(いきいきライフセミナー)……………410千円
 - 〔新〕認知症地域共生事業(つながる居場所プロジェクト)……………2,400千円
 - 〔新〕大学と連携した認知症啓発……………200千円
- 《生涯を通じて活躍できる》
- 《やりがいを持って働くことができる環境づくり》「くまひ」
 - 〔新〕短期就業マッチングシステムの導入……………8,030千円
 - 〔新〕主任ケアマネ資格取得等の支援……………600千円
 - 〔新〕市街地調整区域における空き家の在り方検討……………300千円
- 《活気と活力があふれる》魅力発信とにぎわいづくり「まち」
- 〔新〕坂本城跡保存活用計画策定……………2,475千円
 - 〔充〕「文学のまち大津」推進事業……………10,000千円
 - 〔新〕大津市宿泊税検討委員会の開催……………417千円
- 《防災》
- 〔継〕市役所庁舎整備の推進……………391,600千円
 - 〔新〕感震ブレイカーの設置補助……………3,000千円
 - 〔新〕小学校体育館空調設備整備……………国の補正予算により、前倒し予定

大津市議会 2月通常会議

会派代表質問

質問項目

湖誠会 竹内 照夫 幹事長

- これまでの市政運営に対する評価と今後の基本姿勢について
- 令和8年度当初予算編成について
- 全ての年代が輝くための支援の充実について
- まちの魅力発信によるにぎわいづくりについて
- 災害に強いまちづくりについて

大津市総合計画第3期実行計画について

Q 本計画の現時点における進捗状況と成果について、市長はどのように評価されているのか伺う。

A 第3期実行計画の初年度として、重点プロジェクトは概ね順調に推進した。「就学前教育・保育の魅力向上プロジェクト」では待機児童解消に向けた民間施設整備を推進し、「市役所庁舎整備プロジェクト」では基本計画を昨年8月に策定した。「坂本城跡を生かした歴史

まちづくりプロジェクト」では、国史跡指定を実現し公有化を進め、「認知症施策推進プロジェクト」では部局横断組織を新設した。また、44年ぶりに滋賀県で開催された「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」も成功裏に終えるなど、重点的に取り組む施策で確かな成果を得たと考える。

令和8年度当初予算編成について

Q 令和8年度の予算は、「まち」「ひと」「しごと」の3つの基軸に「防災」がプラスされ、第3期実行計画の1年目の成果をさらに前進させることを期待するところだが、そのためにどのようなお考えのもと令和8年度予算編成に取り組まれたのか、見解を伺う。

A 令和8年度当初予算は、第3期実行計画2年目として、重点プロジェクト推進に加え、歴史文化遺産や大津ゆかりの文学資源を活かした魅力発信と賑わい創出、子どもから高齢者までライフステージに応じた支援の充実、生涯を通じてやりがいをもって働き続けられる環境づくりに力点を置いた。また、防災拠点と

なる新市役所庁舎の本格整備に着手した。扶助費・人件費の増嵩や物価高による厳しい財政状況下だが、財政規律の堅持に努める。

まちの魅力発信によるにぎわいづくりについて

Q 令和7年度に開催された「湖都の葉マルシェ」のような市民が文学を楽しみ、親しむことができる事業を期待するところだが、今後どのような事業を展開される計画なのかを伺う。

A 昨年11月に開催して約3,500人が来場した「湖都の葉マルシェ」を新年度も継続するほか、文化団体や観光団体と官民一体となった「文学のまち大津推進協議会」を新たに設置する。さらに、大津市歴史博物館が古代から現代までの文学作品を解説した冊子を、30年以上ぶりに再編集して刊行した。この冊子は市内小中学校での学習に活用されるとともに、一部販売も予定されており、市が有する文学資源を生かした「文学のまち大津」の取組を引き続き推進していく。



2月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。*質問順に掲載しています。



川口 正徳 議員

乳幼児の健全育成について

Q 大津っ子みんなで育て“愛”全戸訪問事業について、本来であれば目標の100%を目指すべきであるが、里帰り出産等で本市におられないことを考慮しても、100%にならない原因の把握に努めるべきと考えるが、現状と課題について見解を伺う。

A 大津っ子みんなで育て“愛”全戸訪問事業は、生後1か月頃に行う新生児訪問と生後4か月までに行う全戸訪問とで実施しており、令和5年2月以降、伴走型相談支援事業が実施されてからは、新生児訪問率が増加傾向にある。訪問して不在であったご家庭の主な理由としては、里帰り出産やお子さんの長期入院などであることから、里帰り先の自治体で受けた新生児訪問の情報共有や、お子さんが入院している医療機関との連携により、個々の状況に応じた支援に努めている。今後も、不在家庭の状況をより早期に把握し、適切に支援していく。

※他に4項目の質問あり。



福永 英晶 議員

市街化調整区域の規制緩和について

Q 令和8年度には、市街化調整区域における空き家の在り方検討を有識者を交えて行うとのことだが、在り方検討においては、仙台市の事例も参考に、既存集落のコミュニティ維持・活性化に資するような制度の導入も視野に議論を深めていただきたいと考えるが、見解を伺う。

A 市街化調整区域においては、無秩序な市街化を防止するため、原則として開発や建築を制限する区域として都市計画法で位置づけられているが、こうした法令上の位置づけを念頭に置きつつも、モデル地区での規制による影響などを整理しながら、本市の地域特性やニーズ等に合致した在り方を、他都市の事例も参考に見定めてまいりたいと考えている。



寺田 英幸 議員

高齢者の福祉の充実と社会参加について

Q 改修が終了している「中はびすこ」や「南はびすこ」の利用実態を踏まえて、高齢者の保健と介護予防に果たした効果や評価について伺う。また、利用者からの感想や意見を今後の運営に反映させる取り組みについて現状や今後について伺う。

A リニューアル後は新規登録され、トレーニング機器で運動する高齢者が大幅に増えていることから、こうした運動習慣が健康増進に繋がり、介護予防にも効果があるものと考えている。リニューアル後の施設においては、利用者の意見を踏まえてトレーニング機器や健康測定器具の使用方法を大きく表示するほか、機器の使用効果や健康に資する食材を紹介するなど、それぞれの施設で工夫しており、引き続き利用者の意見を反映し、より良い施設となるよう努めていく。

※他に1項目の質問あり。

